



村営定期船 フェリーとしま 2

令和 7 年 10 月運行予定



鹿児島 ↔ 十島村 ↔ 名瀬

十島村 土木交通課 航路対策室
TEL: 099-222-2101
フェリーとしま 2
TEL: 090-3022-4523



日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
予 定	入		出		入	出		入		出		入	出		入		出		入	出		入		出		入	出		入	出	
便 区 分			マ ラ ソ ン 便			名瀬便				名瀬便			名瀬便				名瀬便			名瀬便				名瀬便			名瀬便			名瀬便	

秋の全国交通安全運動について

9 月 21 日（日）～ 30 日（火）は令和 7 年秋の全国交通安全運動が実施されます。

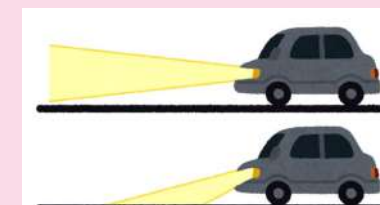
交通安全運動について、実施期間や概要は以下のとおりです。

●運動期間 令和 7 年 9 月 21 日（日）～ 30 日（火）

●交通事故死ゼロを目指す日 9 月 30 日（火）

【交通安全運動の重点】

- ① 歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
 - ② ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
 - ③ 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・順守の徹底とヘルメットの着用促進
- 交通安全期間以外でも交通ルールを順守し、安全運転を心がけましょう！！



広報としまへの広告掲載募集！

●広告の規格・掲載料（すべて消費税別）

縦 13.0cm× 横 8.5cm 月額 10,000 円

縦 13.0cm× 横 17.0cm 月額 15,000 円

A4 サイズ 1 頁 月額 30,000 円

●広告掲載の申し込み

広報誌広告掲載申込書（第 1 号様式）に広告案を添えて総務課にご提出ください。

編集／発行：十島村役場 総務課 広報広聴係



〒892-0822 鹿児島市泉町 14-15

TEL:099-222-2101

よろしければ皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

十島村の人口・世帯数 令和 7 年 9 月 12 日現在

島 名	男性	女性	人口	世帯
口 之 島	53	44	97	64
中 之 島	81	54	135	84
諏訪之瀬島	44	34	78	38
平 島	42	37	79	45
悪 石 島	47	41	88	42
小 宝 島	36	28	64	35
宝 島	58	58	116	68
合 計	361	296	657	376

今年も口之島で盆踊り（狂言）が行われました！

口之島の伝統文化「盆踊り（狂言）」が今年も8月15日に行われました。口之島の盆踊りは、戦いのない平穏無事な世の中を祈って唄われる先踊りに始まり、代々口承だけで受け継がれてきました。島の男性が踊り手となって、戦国の世を語る狂言やはやり唄はとても勇壮です。



また、この盆踊りは、勇ましさだけでなく笑いと娯楽を兼ね備え、踊りの中に狂言が組み込まれているのが最大の特徴です。

さらに、この盆踊りは、難度の高い多くの狂言用語や先唄に加え、狂言の中には最大で15分にも及ぶものもあり、この島独自の伝統文化を録音技術のない数百年前から現代まで正確に伝え残してきたことは大変驚かされます。

今年も子どもから大人まで、多くの住民の方が参加されました。

口之島で継承されてきた古き良き島独自の伝統文化を、決して絶やすことなくこれからも後世に伝え残していくために、口之島では限られた人数の中で正確且つ質の高い継承を目指し、活動しています。



ボゼツアーを実施しました！

9月5日から9月8日の3泊4日の日程でボゼツアーを実施しました。

募集定員の3倍以上の応募をいただき、抽選をした後に、北海道・東京・大阪・愛知など全国からの参加者と共に、ツアーに出発しました。

ボゼツアーは悪石島の旧暦盆行事「仮面神ボゼの出現」に合わせて、悪石島・小宝島・宝島の3島を巡る日程で、宝島ではタンブラー作りやスティールパン観賞、小宝島では観光・温泉の足湯体験を行った後に、悪石島へと移動しました。



悪石島では、坂森神社や金山神社等の観光を行い、テラ（墓地）でのテラ踊りや校庭での盆踊りを鑑賞しました。

盆踊りの後、太鼓の音・掛け声とともに、ボゼが出現しました。会場は一気に盛り上がり、厄払いのご利益があると言われている赤土をボゼに付けてもらっているツアー参加者や、ボゼを怖がり泣いている子供の様子が見られました。

ツアー中は天気に恵まれ、大きな問題なく、無事にツアーを終えることができました。皆様のご協力のお陰でツアー参加者からは「島の食材を使った食事がよかった」や「とても充実したツアーだった」、「また来たい」等の多数のお褒めの言葉をいただきました。

群発地震に見舞われた中で、住民の元気な様子や、ツアー参加者を笑顔でもてなして下さる様子を見て、ツアー参加者も安心し、最後までツアーを楽しむことができました。住民の皆様には大変感謝申し上げます。

ツアー催行に携わっていただいた住民の皆さん、ご協力ありがとうございました。



十島村地域おこし協力隊 隊員レポート Vol.01

地域を耕し、 自分を耕す 宝島で広がる わたしの仕事



宝島 加藤 智恵子さん

母方のルーツが十島村にある加藤さん。自炊のスキルアップや趣味としてのコーヒー焙煎など、小さな楽しみも大切に。「焦らず、止まらず——そんなふうに、ここでの暮らしを少しずつ育てていきたいです。」

島との縁をたどって 幼い頃の記憶とトカラとの出会い

「母方の家系は代々、中之島の出身で、子どもの頃から耳にタコができるほど島の話聞いて育ちました。」大阪生まれ神奈川育ちの加藤さんですが、十島村は決して遠い島ではありませんでした。中之島にルーツのある祖母の逝去を機に、島への思いを馳せるようになり、いつしか十島村への移住を考えるようになりました。東京で開催されていた「関東トカラ会」や「アイランダー」に足を運び、遠い親戚や役場の担当の方に島の住まいや仕事について尋ねて情報を集めつつ、奄美大島や小笠原の父島・母島と少しずつ小さな島へと暮らしの場を移し、経験を積んでいました。

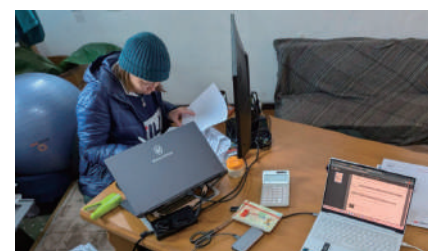
地域おこし協力隊として宝島へ 「今しかない」と動き出した転機

本格的に十島村への移住を考えていた頃、偶然にも宝島で地域おこし協力隊の募集を見つけました。ルーツのある中之島ではありませんでしたが、関東圏から宝島へ移住した先輩方の経験談が気持ちを後押しし、応募を決心。そして、二〇二三年二月に宝島へ移住し、商工観光支援員として、地域おこし協力隊の活動が始まりました。



現在は、農業支援員のほか、これまで培ったスキルを活かしながら活動の幅を広げています。小さな島では、ひとり二足三足のわらじを履いていることが常ですが、加藤さんもそのひとり。現在携わっている業務は、長命草の出荷やモリンガの栽培、観光事業のサポート、魚の加工製造など多岐にわたります。今後は、らっきょうや在来野菜の「宝かぶ」の栽培など新しい作物にも挑戦予定です。

また、一般社団法人宝島の業務として、観光・農水産業の実務に加わりながら、ウェブサイトの運営や制作に携わっています。「実は、パソコンにかじりついている時間も長いんです」と加藤さん。農業・水産の現場と、観光事業、そして、デジタルの場を行き来しながら、自分にあったペースで島での暮らしを続けています。



「大きな変化はまだ感じられませんが、島の方から『楽しみだね』『応援したい』と声をいただいたり、取り組んでいることに對して『順調だね』と声をかけていただけていることが日々の励みになっています。」

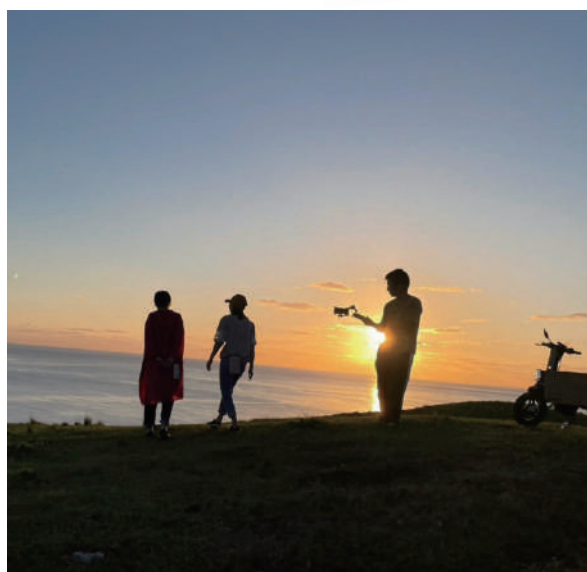
ゆっくりと島の日常に溶け込む

加藤さんが宝島に移り住み、二年が経過。振り返ると、日常の何気ないやりとりと島のあたたかさが詰まっていました。「お茶飲みにおいでよ」「たくさん送られてきたから持っていきなさい」「元氣か？」そんな気さくな言葉をかけてもらえる日々。宝島だけでなく、十島村のほかの島の方からの電話やメッセージにも、心がほぐれます。「自分の居場所を、この村の中に少しずつ見つけられているのを感じます。まだ慣れずに苦労することもあります。どの瞬間をとっても移住して本当に良かったと感謝しています。」

この暮らしが誰かの一歩に



お祭りで六調の音が聞こえると、自然と体が動き出し、心がわき立つような、血が騒ぐような感覚があると話す加藤さん。生まれ故郷ではないものの、縁ある島の音が心に響きます。ルーツを辿るように移住した加藤さんの暮らしぶりは、縁ある島と繋



がりたい人々にとって、移住モデルの一例にもなっています。「たまの農業と、そのとき必要とされる仕事を無理のないペースで続けていけたら。誰かの『こんな形もあるんだ』というヒントになれば嬉しい」と、自分らしい暮らしを積み重ねています。

地に足のついた暮らしへ

地域おこし協力隊として活動する中で、特産品の開発や販売、PRに興味を持つようになった加藤さん。将来、特産品づくりを続けながら、地に足のついた暮らしを続けていきたいと思っています。「ここにまた来たい」「誰かに紹介したい」と思ってもらえるきっかけをつくれるように。加藤さんの宝島での挑戦は続きます。

十島村のみなさんへ

いつも温かく迎えてくださり、ありがとうございます。まだまだ未熟ですが、少しでも自分にできることを続けて、十島村で長く暮らしていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



地域おこし協力隊って どんな制度なの？

吉村 佑太 さんが答えます！

地域おこし協力隊制度は人手不足を解消するための制度ではありません。島民の暮らしや取り組みのサポートすることで、地域に貢献することを目的とした制度です。また、加藤さんのように任期後の定住を目的とした仕事づくりも任期中に行なっていきます。

2025年10月18日(土) 宝島にて地域おこし協力隊の村民向け活動報告会を初開催予定です！

県内一の隊員数を誇る十島村の地域おこし協力隊員。任期途中や任期後に島を出ていく隊員も多く、活動の継続や定着に課題を抱えています。そこで、今年度は隊員の想いや活動を紹介する記事の連載や活動報告会を実施することにしました。隊員の想いや活動を知ることによって応援の輪がトカラの島々に広がることを願っています。

YAMAKATAYA
ななテラス
10周年記念イベント

10th

トカラ列島より
心ほどける、南のごはん



※当店のお米は、国内産を使用いたしております。
※食物アレルギーが心配なお客様は、係員にお申し付けくださいませ。
※器や食材等、市場の都合により料理内容、盛り付けが変わることがあります。
※表示価格には消費税が含まれております。
※写真はすべてイメージです。

海と大地のありのままの恵みを…

トカラ定食
2,200 (税込) 円

- かごしま島々の味だより -

トカラ定食
10/1(水)~10/31(金)

遠くの島の優しいごちそう
1か月だけのトカラ時間をお楽しみください。



10月の山形屋はトカラがいっぱい！



山形屋 ×



「トカラフェア」 10月1日から山形屋で開催！

【7階・山形屋食堂】

かごしま島々の味だより「トカラ定食」 (10/1~10/31)

【7階・レストラン ルドーム】

1日限定フレンチ「海のテロワール」 (10/25)

【B1階・パティスリー ルドーム】

トカラの食材を使用した限定スイーツ (10/1~10/31)

【7階・ななテラスギャラリー】

フォトグラファー中村一平「トカラ写真展」 (10/8~26)

【7階・エレベーター前広場】

生産者直売「トカラ物産展」 (10/11・12・13・25・26)

来島した ルドーム料理長・鹿島匡人シェフより

去年、トカラPR大使の田上真澄さんに宝島の「梅子さんのやきもち」をお土産で頂いたのが始まりでした。その時、何とも言えない温かさ、優しさ、美味しさを感じました。

それからトカラ列島に興味を持ち、色々とお話を聞くうちに是非一度トカラ列島へ行き食材を自分の目で見て、島の方々とお話をし、島の食文化も聞いてみたい…。そんな想いが込み上げてきて、たくさんの皆様のご協力があったて実現しました。



今回は悪石島、中之島、宝島へ行かせて頂きましたが自分が想像していた以上に島の方々に優しく迎え入れて頂き、食材の素晴らしさ、伝統、風土、優しさ、温かさを教えて頂きました。

『この感動を是非たくさんの皆様に知ってもらいたい！』そんな想いを込めて今回10月からのフェアの料理も作らせてもらいました。

フランス料理人として新しい発見や気づき、インスピレーションもたくさん頂きました。この気持ちを言葉だけでなく料理人として料理で伝えたいと思います。

山形屋食堂では10月1日より1か月間、フランス料理のトカラ美食会は10月25日に開催します。島の魅力を写真展や物販もしながらたくさん山形屋から発信していきます。

是非、皆様も10月は山形屋に遊びに来てください！



海外ホームステイ派遣事業

十島村では、平成24年度より児童生徒が見聞を広め、国際感覚の育成、自立心の向上をめざして海外ホームステイ派遣事業を行っています。これまでに、50名の子どもたちが海外留学を体験し、今回で11回目の派遣となりました。

本年度は、中学生1名と高校生3名の4名を海外派遣留学生として、オーストラリアのパンパシフィックパインズ州へ派遣を行いました。

オーストラリアでは、現地の学校に体験入学し、英会話のレッスンや生徒との交流授業を行いました。また、ホストファミリーとともにオーストラリアの家庭生活も体験しました。

8月6日、14日間の派遣を終えて帰国した留学生は、役場にて報告会を行いました。

留学生からは、最初は難しかった英会話の日を重ねるごとに慣れて、コミュニケーションがとれるようになったことや日本の食文化のすばらしさ、学習や生活スタイルの違い、自分の将来の夢にむけての貴重な体験となったことが報告されました。

各留学生からは最後に今回の貴重な体験をさせてもらった十島村や村民の方々への感謝の気持ちが述べられました。



「孤独のグルメ」原作者が悪石島へ！ 「久住昌之のふらっとトカラ旅」公開中！

ドラマや映画で大人気の「孤独のグルメ」の原作者
久住 昌之（くすみ まさゆき）さんが トカラ列島・悪石島に来島！
その模様を撮影した動画が十島村 YouTube チャンネルで公開中です
ぜひご覧ください！

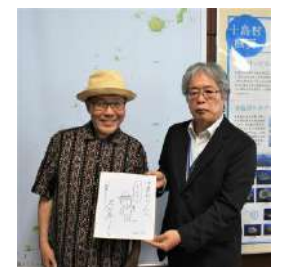


十島村 YouTube チャンネルは
コチラから！



【久住昌之氏が役場を表敬訪問】

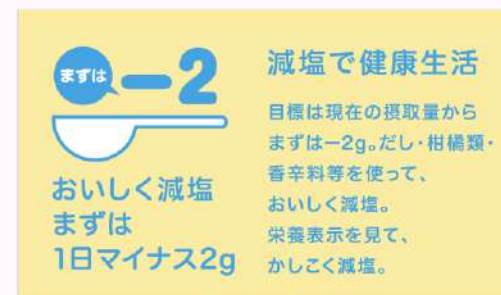
撮影当日の6月3日に久住氏が十島村役場を表敬訪問。
公務で不在の久保村長に代わって福澤副村長と懇談。
久住氏からはサイン色紙をいただきました。



食生活改善普及運動

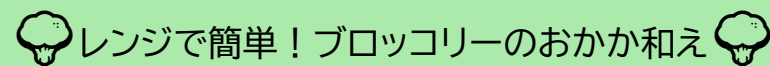
～9月は自分の食生活を見直してみよう！～

【テーマ】 毎日、あと一皿ずつ野菜と果物をプラス！ 毎日、2g減塩を！

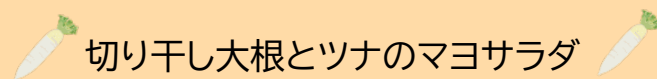


【期間】 2025年9月1日～9月30日

【おすすめ野菜レシピ】



材料：ブロッコリー(冷凍でもよい)、かつおぶし、ぽん酢
作り方：ブロッコリーをレンジで2分チンして和えるだけ♪



材料：切り干し大根、ツナ缶、マヨネーズ、酢、こしょう
作り方：切り干し大根を水で戻し、材料をすべて混ぜるだけ！

【減塩のポイント】

調理の工夫で減塩！

- ① 汁物は具たくさんに！ みそ汁やスープは具材を多くして、汁の量を減らす。
- ② だしのうま味を活用！ かつお節・昆布・煮干しなどのだしを効かせると、薄味でもおいしい！
- ③ 香味野菜やスパイスで風味づけ！ しょうが・にんにく・ねぎ・唐辛子・カレー粉などで味にアクセントをつけよう。

食べ方の工夫で減塩！

- ① 調味料は「かける」より「つける」！ しょうゆやソースは小皿に出して、つけて食べると使う量を減らせます。
- ② 麺類のスープは残す！ スープを全部飲むと塩分を一気に摂っちゃうので、残すのがベター！
- ③ 酸味や香りをプラス！ 酢や柑橘類の果汁、ごま・しそ・のりなどで風味を足すと、塩分控えめでも美味しくなる！

人間ドック・脳ドック施設利用助成にかかるお知らせ

当事業は人間ドック・脳ドックの受診料の一部助成により、被保険者の意識向上とともに、住民の健康保持と健康増進に寄与し、もって健康で安心安全な村づくりの推進を図ることを目的としています。

1 対象者

国民健康保険被保険者・後期高齢者医療被保険者で、国保税・後期保険料の他、村税等を完納している世帯の方を対象にします。

2 助成額

- 1 日ドック受診費用の半額を村が負担（上限 30,000 円）100 円未満は切捨
- 2 日ドック受診費用の 70%を村が負担（上限 50,000 円）100 円未満は切捨

3 利用方法

- ① 住民課に利用申請書を提出（下記対象施設名を記入してください。）
- ② 役場から利用券を受け取る。
- ③ 本人による病院との日程調整、予約を行う。（予約は利用券発行後をお願いいたします。）
- ④ 病院で人間ドック・脳ドックを受診し支払い窓口にて助成額を差し引いた金額を支払う。

4 対象医療機関

【人間ドック】

施設名	住所
公益財団法人 鹿児島県民総合保健センター	鹿児島市下伊敷三丁目 1 番 7 号
公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院	鹿児島県鹿児島市堀江町 17 番 1 号
公益社団法人鹿児島共済会 南風病院	鹿児島県鹿児島市長田町 14-3
奄美医療生活協同組合 奄美中央病院	奄美市名瀬長浜町 16-5
鹿児島厚生連病院 健康管理センター（令和 7 年度より）	鹿児島市与次郎 1 丁目 13-1
さがらパース通りクリニック（令和 7 年度より）	鹿児島市新屋敷町 26-13

【脳ドック】

施設名	住所
医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院	鹿児島市東千石町 4-13
公益財団法人昭和会 いまきいれ総合病院	鹿児島市高麗町 43 番 25 号
公益社団法人鹿児島共済会 南風病院	鹿児島市長田町 14-3

【がんドック】

施設名	住所
医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院	鹿児島市東千石町 4-13

連絡先：十島村役場住民課 保険係

平成9年度～20年度生まれの女性で
2024年度末までに
HPVワクチンを1回以上受けた方へ

公費による
HPVワクチン接種は
2026年
3月末まで

2回目・3回目の ワクチン接種を 忘れていませんか？



- HPVワクチン接種は **合計3回** です。
- 2回目と3回目の接種には3か月以上の間隔をあける必要があります。
- 公費による接種を希望する場合は、遅くとも今年の **12月末までに** 2回目のワクチンを接種する必要があります。
- 公費による接種が終了となる来年の3月末は、**予約が取りづらくなる可能性**もありますので、**余裕をもったスケジュールでの接種**をご検討ください。

平成9年度～20年度生まれの女性のHPVワクチン接種について

- ・子宮頸がん予防のためのHPVワクチンの公費による接種を提供しています。
- ・2024年夏以降の大幅な需要増により、HPVワクチンの接種を希望しても受けられなかった方がいらっしゃいました。そのため、2024年度末までに接種を開始した方は、全3回の接種を公費で完了できるようになりました。
- ・平成9年度～19年度生まれの女性は「キャッチアップ接種」、平成20年度生まれ(高校2年相当)の女性は「定期接種」として提供されていますが、どちらも期限は2026年3月末までです。



Q.接種券が手元にありません。接種できますか？

よくあるご質問

- A.住民票のある市町村で再発行が可能です。
ご不明な点やご相談がある場合も、市町村にご連絡ください。

HPVワクチン接種についてもっと
詳しく知りたい方はこちら



HPVワクチンの「キャッチアップ接種」に
ついてもっと詳しく知りたい方はこちら



HPVワクチンに関する
よくあるQ&Aはこちら



子育て支援拠点施設 各園の活動



諏訪之瀬島
← すわっこ園
セタ・プール遊び



↑ 平島 たいらっこ園 星に願いを

↑ 悪石島のびっこ園
おおくのみなさんに「ありがとう!!」



フィリックス先生、ありがとうございました
↑ 中之島

くつろぎの郷さんとイモ苗植え、たくさん
のイモが収穫できますように

なかよし3人組

ほしのご園

↑ 口之島 くちっこ園

宝島 いまさら園 ↓



うれしいプール遊び

十島村包括支援センターからのお知らせ

～「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」について～

鹿児島県では、認知症の正しい理解の更なる普及啓発や認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けた気運の醸成を図るため、「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」を平成30年度から設定しています。また、わが国でも2024年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」において、国民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるために、毎年9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と定めています。

身近な家族や友人、自分自身が認知症になっても、今までどおり住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう、一人でも多くの方に認知症の人や家族の方々の応援者、理解者になって頂き、認知症になっても、安心して暮らせる「地域（島）づくり」を考えていただきたいと思います。

認知症とともに いきいきと暮らす 地域を目指して

認知症の診断後も、地域や社会とのつながりをもちながら、これまでどおりの生活をしている認知症の人が多くいます。また、認知症の人やその家族とともに過ごすことで、認知症に対する見方が変わり、地域とともに暮らす仲間として認知症の人と接することができる「新しい認知症観」をもつ人が増えてきています。

認知症の人 自分らしい暮らしを続けることにチャレンジしよう

診断されて18年たちますが、暮らしの中に目標を定めて、日々工夫を重ねてきました。目標に向かってともに動いてくれる仲間を見つけることもとても大切です。自ら考え続けて、自分らしい暮らしをおくことにチャレンジしていったほうがいいです。

家族 やさしい一言で気持ちが楽に

夫が認知症の診断を受けショックでした。夫は何もできなくなってしまうと思いました。また、周囲からの認知症への誤解や偏見を受けるのではないかと心配しました。夫の異変に気づいた近所の人々が訪ねてくださり「何かあれば力になるからね」とやさしく声をかけてくれました。思い切って相談すると肩の力が抜け楽になりました。

地域の人 いつまでも、先生はせんせい

趣味教室の先生の指導内容に分からないことが増えてきたなあと感じていた時に、先生が認知症と診断されたことを知りました。生徒は全員、先生がいるその教室が大好きで、先生に続けてほしくて、生徒の私たちがサポートをしながら教室は継続しています。先生もいきいきと教えてくださっています。

新しい認知症観とは

認知症になっても、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考えです。

9月21日は認知症の日（世界アルツハイマーデー）

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されたことにより、2024年から毎年9月が「認知症月間」、9月21日が「認知症の日」と定められました。

また、国際アルツハイマー病協会（ADI）は、1994年の国際会議で世界保健機関（WHO）の後援を得て、9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、以降はこの日を中心に認知症の啓発を実施しています。

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が制定され、全国の自治体で、新しい認知症観に基づく取り組みがすすめられています。



「認知症基本法」のダウンロードはこちら

出展：「公益社団法人認知症の人と家族の会アルツハイマーデー2025 リーフレットより」

高齢者の活動報告！！



〇之島のなごみの里、中之島シルバー倶楽部でグラウンドゴルフの活動を行いました(o^—^o)

グラウンドゴルフは、**高齢者の健康維持、認知症予防、地域交流活動の一環**として、老若男女で幅広く取り組まれています。

熱中症対策を十分行い、みなさん元気に活動されていたので紹介します。

〇〇之島『なごみの里』

まずは、みんなで準備運動！



なかなかホールポストに入りません！



少し木陰でひと休み... (´▽`)ホッ



〇中之島『中之島シルバー倶楽部』



遠くのホールポストをよぉ～く狙って...

最後に記念撮影！
また取り組んでみてください！



十島村役場では、**グラウンドゴルフ用品の貸出し**を行っています。

老人クラブでの活動や地域活動でぜひご利用ください。

また、現在、〇之島・中之島・小宝島・宝島の4島で老人クラブが発足され、日々の活動に取り組んでいます。老人クラブがない地域の方で、**クラブを立ち上げて活動されたい方**がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。

〇お問合せ先

住民課 健康福祉室 福祉係
☎ 099 - 222 - 2101

十島村デジタル支援員制度 はじまります！

「島の暮らしに、ちょっとデジタルの力を。」

十島村では、誰もが安心してデジタルを使える環境づくりを進めています。住民同士が支え合い、スマホやパソコンの“困った”と一緒に解決する。それがデジタル支援員制度です。

この制度は、ITに不安を感じる方々に寄り添い、日常の中で少しずつデジタルを活用できるようサポートする取り組みです。支援員は、特別な専門家ではなく、あなたの隣にいる“ちょっと得意な”仲間です。



●相談内容（例）

- ・スマホの基本操作のサポート
- ・LINEやメールの使い方
- ・オンライン申請や予約の手伝い など

●ご利用頂ける方

- ・十島村在住の方

●ご利用料金

- ・無料

●ご利用方法

方法①：各島に在住のデジタル支援員に直接ご連絡ください

方法②：事業受託先であるシナプスのサポートセンターへお電話ください

※各島のデジタル支援員の名前や連絡先は別途チラシでお知らせします

令和7年度9月時点で、中之島・悪石島・小宝島・宝島でご利用可能です

口之島・諏訪之瀬島・平島でのデジタル支援員を募集中！

本制度についてのお問い合わせは

株式会社シナプス 十島村役場
営業課 福山 総務課 瀬戸口
099-813-8699 099-222-2101
(シナプスサポートセンター)

十島村デジタル支援員制度
主管：十島村役場総務課
事業受託先：株式会社シナプス

第27回参議院議員通常選挙の結果を報告します！

【投票結果】

(単位：人)

投票結果	男	女	合計
(a) 選挙当日の有権者数	289	245	534
(b) 投票者数 (ア)+(イ)+(エ)	226	177	403
(ア) 当日投票者数	189	143	332
(イ) 期日前投票者数	35	32	67
(エ) 不在者投票者数	2	2	4
(c) 棄権者数 (a)-(b)	63	68	131
投票率 (b)÷(a)	78.20%	72.24%	75.47%

【開票結果(選挙区)】

番号	候補者名	得票数
1	おつじ ともみ	162
2	まきの 俊一	68
3	そのだ 修光	139
4	山本 貴平	5

【開票結果(比例代表)】

番号	候補者名	合計得票数
1	日本共産党	9
2	日本維新の会	21
3	無所属連合	3
4	日本保守党	6
5	立憲民主党	41
6	参政党	35
7	国民民主党	25
8	チームみらい	6
9	日本誠真会	2
10	社会民主党	8
11	れいわ新選組	32
12	日本改革党	0
13	自由民主党	124
14	再生の道	5
15	公明党	57
16	NHK党	5

3名のALTが退職・異動されました

中之島 ALT

フィリックス・ジャイルズ・ロサノースキー

4年間中之島学園でALTとして勤務させていただきました。

毎日先生方と児童生徒と一緒に英語活動を行ったり、日々の生活を共にさせていただいて光栄でした。みんなと英語のゲームをすることが毎日の楽しみでした。面白かったです。

最高な4年間、ありがとうございました。



小宝島 ALT キアン・フィンネガン

僕は一年前、小宝島でALTとして働かせていただきました。

その時以来、たくさんの思い出ができました。

皆さんの優しさのおかげで、たくさん島の生活について習いました。例えばアダンの里の参加者方と島の歴史についてお話ししました。すごく楽しかったです。それに、生徒や先生たちのおかげでたくさんの新しく面白い日本語の言葉を習いました。僕は深く感謝しています。

この島のことは絶対に一生忘れません。短い期間でしたが、僕は大学院を卒業したら日本に帰ってくるつもりですので、また会いましょう！

本当にありがとうございました。



宝島 ALT ケビン・ヴォング

宝島での3年間は、私にとってかけがえのない経験でした。自然に囲まれた環境で、子どもたちと一緒に学び、遊び、笑い合えた日々は一生の宝物です。

たくさんの優しさとサポート、本当にありがとうございました。宝島の思い出は、これからもずっと心の中にあります。



新規採用職員を紹介します！

中之島 ALT ベンジャミン・レッドマン

私は、中之島のベンジャミン・レッドマンです。

イギリス人です。スコットランドのエディンバラの近くにあるオクストンという村から来ました。学校や大学で音楽を教えていました。

中之島でも学校や地域に貢献できるように一生懸命がんばります。

どうぞよろしくお願いします。



小宝島 ALT アイハン・イエネル

はじめまして。アイハン・イエネルと申します。アメリカから来ました。出身はニューヨークです。趣味はハイキング、水泳、空手です。

小宝島の文化と生活を体験したいです。英語を教えることで言語を学ぶ楽しさを分かち合いたいと思います。

日本に来るのは初めてで、日本語も上手ではありませんが、頑張ります。

皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。



宝島 ALT ジョセフ・カステン

島民の皆さん、はじめまして。

ジョセフ・カステンと言いますが、祖母の旧姓が西川ですので、西川と呼んでくれたら嬉しいです。

私は、米国のニューメキシコ州から来ました。趣味はロッククライミング・撮影・物作りです。

新しいALTとして英語を教えるのが楽しみです。

私の日本語はまだ足りていないですが、英語と日本語を使って皆さんと話したいので、遠慮なく話しかけてください。



中之島 看護師 大迫 奈保子

会計年度任用職員看護専門員として、8月1日より中之島へき地診療所勤務させていただきます、看護師の大迫と申します。

以前より離島へき地の看護師を希望しており、今回良いめぐり合わせがあり、嬉しく思っております。

村民の方がその島でその方らしい生活が送れる様精一杯サポートさせていただきますと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

